

## 平成30年3月1日（木）月頭集会

毎月の始めに、校長の話・表彰・校歌斉唱・各担当からの連絡等の内容で行っています。今回の校長の話は、本校のチャレンジ目標をもとにした内容でした。

『山口県一の福栄のみ・そ・あ・じ』の『あ』について、点数を付けると、小学生はかつがつ60点、中学生は75点、手本となる先生方も100点ではなく75点です。何が足りないか、それは、本物のあいさつが身につけていないということです。いつでも、どこでも、誰に対しても、何度でも自分から先に、大きな声で気持ちのよいあいさつができていますでしょうか。登下校時、地域の方の姿を目にしたら、30m・50m先でも大きな声であいさつを届けましょう。そして、近づいたら、相手の顔を見て丁寧に会釈をし、気持ちを伝えられるように、あいさつのレベルをどんどん上げていってほしいと思います。本物にするには、毎日意識して続けなければなりません。意識しないと、すぐにレベルが下がり、情けないあいさつになってしまいます。あいさつは、とても正直です。あいさつを意識することは、相手の人を大切にしたり、周りに対する気遣いができたりすること等につながり、自分自身の色々な行動のレベルを上げてくれます。「山口県一の福栄のみ・そ・あ・じ」の『あ』が磨かれることによって、『じ』も磨かれ、人をいじめたり、つらい目にあわせたりしない、人権を意識した行動もできるようになります。みんな、あいさつのレベルを上げ、そして、学校のレベルをさらに上げていってください。この3月を4月の新年度のよりよいスタートにつなげる、そんな月にしてください。」

と話しました。新年度を直前にした子どもたちにとっても、教職員にとっても、身の引き締まるものになったと思います。3年間、自身の言葉と行動で、様々なことを伝えてきた校長も、今年度末に定年退職を迎えます。これまで学んできたことを、全員でしっかり受け継ぎ、来年度はさらに躍進していきたいと思います。その後、表彰に続き、小学部校歌1番と中学部校歌1番を斉唱して終わりました。

